

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東  
 コード番号 7138 URL <https://www.torico-corp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 拓郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理部長 (氏名) 中道 智宏 (TEL) 03-6261-4346  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,325	—	51	—	51	—	36	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 36百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	29.68	27.05
2022年3月期第2四半期	—	—

(注) 2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,145	1,151	53.6
2022年3月期	1,930	1,071	55.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,149百万円 2022年3月期 1,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,398	0.2	167	△16.0	168	△19.1	115	△24.5	92.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,241,220株	2022年3月期	1,208,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	1,229,523株	2022年3月期2Q	—株

(注) 2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.torico-corp.com/ir/>) で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (業績の状況)

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きと共に行動制限も徐々に緩和され、ウィズコロナを前提とした各種政策へ移行しつつあります。一方で引き続きロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの継続や、歴史的な円安進行による物価の高騰、世界的な金融引き締め等を背景とした国内外の景気の下振れ等の懸念により、経済の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境としましては、新型コロナウイルス感染症の落ち着きと共に行動制限も徐々に緩和された事で消費行動の外出再開への反動が強まっており、相対的に巣ごもり需要が沈静化した事で、出版流通業界全体において売上が前年比を下回る状況となっております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所が発刊している出版月報9月号によると、当第2四半期の連結累計期間にあたる2022年4月～9月の書籍雑誌推定販売金額は、前年同期比6.4%減となっております。

特に当社が属する紙コミック市場については、同出版月報8月号・9月号によると、紙コミックスの推定販売金額が直近8月で前年同月比7%減、9月で同22%減となっており、直近で書籍全体の販売推移以上の減少がみられております。当第2四半期の連結累計期間においては、マンガを原作とする作品のアニメ・映画化等によるヒット作品がいくつか発生しているものの、前年同期に発生した「呪術廻戦」「東京卍リベンジャーズ」等と比較して数、規模共に小さかった事も、巣ごもり需要の沈静化と共に、紙コミック市場の減速の要因になったと考えております。

そのような環境の中で、主力のECサービスについては、当第2四半期の連結累計期間を通してのECサイトに訪れるユーザー数は10.3百万人(計画値11.7百万人、前年同四半期比12.7%増)と前年からの拡大は図れたものの予算値には未達となりました。一方で、購買率については1.51%(計画値1.96%、前年同四半期比28.3%減)とより低下が著しく、その結果当第2四半期の連結累計期間において業績予想に対する売上高達成率は81.1%となり、期初の想定を下回りました。

また当社グループが成長サービスとして位置付けるイベントサービスについては、当第2四半期の連結累計期間におきましては、2022年3月に新規オープンした名古屋店舗を含む国内4店舗のイベント開催及び、ECの活用によるイベントグッズ販売の両方が大きく拡大しましたが(前年同期比では39.4%増)、同サービスの売上高も予算比85.8%と予算を下回る結果となりました。

上記の施策の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,325,389千円、営業利益は51,625千円、経常利益は51,244千円、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は36,489千円となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,145,507千円(前連結会計年度末比215,230千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,973,513千円(前連結会計年度末比205,824千円増)、固定資産が171,994千円(前連結会計年度末比9,405千円増)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動資産は、銀行借入の実施等に伴い、現金及び預金が289,173千円増加したこと、一方で、売掛金が72,024千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は、自社サービス関連の開発活動の実施でソフトウェア仮勘定等が増加したことにより、無形固定資産が18,534千円増加したこと及び減価償却費の計上によって8,969千円が減少したことによるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は993,689千円(前連結会計年度末比134,779千円増)となりました。負債の内訳は、流動負債が614,041千円(前連結会計年度末比92,263千円減)、固定負債は379,648千円(前連結会計年度末比227,043千円増)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動負債は、取引の減少により買掛金が95,093千円減少したこと、納税の実施により未払法人税等が63,828千円減少したこと、銀行借入の実施により1年以内返済予定の長期借入金が59,421千円増加したことによるものであります。また固定負債は、銀行借入の実施により長期借入金が227,043千円増加したこと等によるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,151,818千円(前連結会計年度末比80,451千円増)となりました。主な変動要因は、2022年4月20日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による増資と、2022年9月14日を払込期日とするストックオプションの権利行使による増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ21,981千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上に伴い利益剰余金が36,489千円増加したことによるものであります。

以上の結果、財務指標としては、流動比率が321.4%、自己資本比率が53.6%になっております。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、289,173千円増加し、1,026,433千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、18,788千円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益51,244千円、売上債権の減少72,024千円、減価償却費8,969千円、棚卸資産の減少6,716千円等による資金の増加と、仕入債務の減少95,093千円、法人税等の支払による減少69,795千円等による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、22,463千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3,928千円、無形固定資産の取得による支出18,534千円等による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得た資金は、330,426千円となりました。これは、長期借入れによる収入300,000千円と、株式の発行による収入43,962千円等による資金の増加と、長期借入金の返済による支出13,536千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年11月11日)公表いたしました「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、公表時点において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	737,259	1,026,433
売掛金	366,490	294,466
商品	613,099	606,382
その他	55,122	49,637
貸倒引当金	△4,283	△3,405
流動資産合計	1,767,688	1,973,513
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	54,030	51,636
その他（純額）	21,760	19,152
有形固定資産合計	75,791	70,788
無形固定資産		
その他	16,094	32,853
無形固定資産合計	16,094	32,853
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,125	33,330
その他	34,577	35,022
投資その他の資産合計	70,703	68,353
固定資産合計	162,588	171,994
資産合計	1,930,277	2,145,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	378,978	283,885
1年内返済予定の長期借入金	27,072	86,493
未払法人税等	81,022	17,194
その他	219,231	226,468
流動負債合計	706,304	614,041
固定負債		
長期借入金	152,605	379,648
固定負債合計	152,605	379,648
負債合計	858,909	993,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,556	182,537
資本剰余金	491,248	513,229
利益剰余金	417,316	453,805
株主資本合計	1,069,121	1,149,572
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	1,071,367	1,151,818
負債純資産合計	1,930,277	2,145,507

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,325,389
売上原価	1,507,556
売上総利益	817,833
販売費及び一般管理費	766,208
営業利益	51,625
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	1
コイン失効益	1,442
その他	661
営業外収益合計	2,108
営業外費用	
支払利息	2,051
その他	437
営業外費用合計	2,489
経常利益	51,244
税金等調整前四半期純利益	51,244
法人税、住民税及び事業税	11,960
法人税等調整額	2,795
法人税等合計	14,755
四半期純利益	36,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,489

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月30日)
四半期純利益	36,489
四半期包括利益	36,489
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	36,489

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 2022年 4月 1日	
至 2022年 9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	51,244
減価償却費	8,969
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△877
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	2,051
売上債権の増減額 (△は増加)	72,024
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	△95,093
その他	8,528
小計	53,559
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△2,557
法人税等の支払額	△69,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,788
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△3,928
無形固定資産の取得による支出	△18,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,463
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△13,536
株式の発行による収入	43,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	330,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	289,173
現金及び現金同等物の期首残高	737,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026,433

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月20日付で、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ17,595千円増加しました。

また、第4回及び第6回新株予約権の行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,386千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が182,537千円、資本剰余金が513,229千円となっております。